

国見の輝き人

よりよい製品づくりを目指して —

栗原 ^{ゆみ} 由美 さん (藤田宮前)

日特コーセイ株式会社では、主にパーツフィーダ（自動供給排出装置）という製品の製造や販売を行っています。私はその製品の設計を担当しています。設計といっても、設計図を書くだけでなく、製品に使用する部品の選定も行います。どこに、どのような性能・性質を持った部品を使用すれば、お客様の要望する使い勝手や強度、コストに見合った製品を製造できるのかを常に考えて設計しています。

システムエンジニアを目指して専門学校に通って勉強をするなど、ものづくりは昔から好きでした。この会社に入社する時は、単に設計（トレース）だけだと思っていましたが、設計に関するさまざまな業務を行うことになり、初めのうちは会社の皆さんに迷惑をかけながら、手取り足取り教えていただきました。

設計の仕事だけでなく、まれに現場の人と一緒に仕事をするときは楽しさを感じています。現場で製品の組み立てに参加したりすると、自分の仕事の幅を広げてみたいと思うこともあります。また、上手くいかなかったことや、できなかったことを自分の力で解決できると嬉しいし、仕事のやりがいを感じています。



町の製造業のなかで、設計の段階から自社で行っているところは少ないのではないのでしょうか。小さいところでも設計からやれる、技術力で勝負をしているということに自信を持っています。

今後はこれまでの概念にとらわれず、最先端の製品を作っていきたいです。常に世の中の新しい情報を取り入れられるようにして、既存の製品に付加価値を付けた、より良い製品作りができるように努力していきたいです。

※パーツフィーダとは…部品を振動させることにより、一定の方向に決まった姿勢にそろえて供給する機械。



「設計で行き詰ったときは、お子さんに相談してアイデアを得ることもありました」と話す栗原さん。

町長
コラム



ま
真こらむ

【第4回】

「柏葉祭で」

柏葉祭。県北中の体育館。まず、生徒たちが体験した総合学習のステージ発表。中学生の目に映る町の姿を写し鏡で見せられたよう。彼らは、柔らかいけどしっかりと核心を突いてくる。行政や大人の「できない理由」を彼らは「言い訳」だとすっきり見抜いてる。私たちは、彼らに何かを諦めさせたり、何かに失望させたりしちゃいけないんだと、心にストンと落とし込んでくる発表が続く。

次は、クラスごとの合唱。いや、これはヤバかった。ビッタビタと決められた。正直に言います。ナメてました、聴くまでは…。指揮もステージ上での所作も全てがスマートなマエストロたち。個性がしっかり音色に出たピアノ伴奏者たち。それに応えて歌う表現者たち。1年生は今しか歌えない絶妙な選曲。2年生は元気で自由でほんとに伸びやか。3年生は安定の声と堂々の音楽づくりで圧倒。みんないい。一所懸命が胸を打つ。連打する。

そしてもちろん、先生たちには感謝です。

引地 真

